

弱さの情報公開

・・・当事者研究のすすめ

多様な人々が、ともに安心して暮せる共生社会を実現していくために、いま何が大事でしょうか？

それには、一人一人がお互いが持っている「弱さ」を情報公開することによって、困難を分かち合い、安心できる人間関係を築き、協力できる社会を創造していきけるのではないのでしょうか。

今回、北海道・浦河にある「べてるの家」で心の病を抱える人々と、すべての人々がともに安心して暮せる社会実現を目指す活動を進めているソーシャルワーカーの向谷地生良さんをお迎えします。向谷地さんは「当事者研究」の第一人者で、全国各地でセミナーを開催し、多くの人々の共感の輪が広がっています。

第一部 講演

「弱さの情報公開・・・当事者研究実践」

べてるの家・ソーシャルワーカー 向谷地 生良



第二部 対談

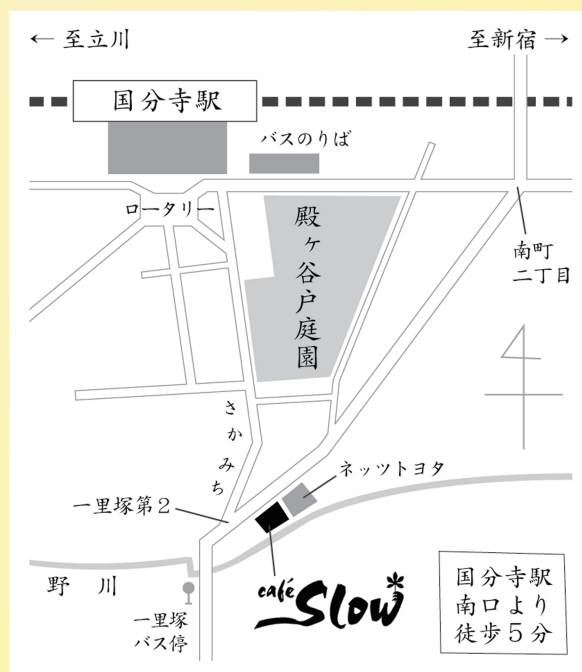
「いま、なぜ当事者研究なのか」

べてるの家・ソーシャルワーカー 向谷地 生良

× 白梅学園大学学長 汐見 稔幸



2015年 **5月23日** (土) 19時00分～21時30分 *18時開場



参加費

一般：1,500円 (1ドリンク付き)

学生：1,000円 (1ドリンク付き)

定員

80名 (先着順・事前にカフェスローまでお申込みください)

会場・申込み

カフェスロー (JR国分寺駅南口徒歩5分)

TEL 042-401-8505

mail cafeslow@h4.dion.ne.jp